



〈はこふし〉PRキャラ
仮称：ししたん

主なニュース

- ・伊達市合併20周年記念式典開催
- ・デジタルサイネージで情報提供
- ・伊達東地区交流館を小・中・高校生に開放
- ・クリーンアップ作戦
- ・歴史の冒険者⑪

伊達東 TOPICS

6月28日ふるさと会館に市民が集い節目の年を祝う
伊達市合併20周年記念式典開催



式典のオープニングを勇壮な霊山太鼓が飾り、出席者から大きな拍手が贈られました。

伊達市合併20周年記念式典

が6月28日に開催されました。

式典は伊達市ふるさと会館を会場に、市民や県内外の関係者約460人が出席して開催され、出席者は20年の歩みを振り返るとともに、今後の市勢発展に向けて決意を新たにしました。

開会前の時間には、5町の合併前からこれまでの貴重な記録映像が流れ、参加者それぞれがこれまでの歩みに思いをめぐらせました。

勇壮な霊山太鼓で開幕

幕が上がると勇壮な霊山太鼓がオープニングを飾り、参加者から大きな拍手が送られました。

全員で伊達市歌を斉唱後、須田博行市長が登壇し、

「合併以来、自然豊かな環境と先人が築いてきた歴史や伝統を継承し、5町それぞれの生活・文化・産業を大切にしながら市民との協働で町づく



ホール満席の市民が20年の節目を祝いました。

りを進めてきた。温かく人情味のある市民性など、本市の特性を生かしたまちづくりをさらに進めていきます」と式辞を述べました。
続いて佐藤実市議会議長があいさつし、福島県副知事や国会議員など来賓が祝辞を述べました。



冒頭、須田市長が式辞を述べました。

名誉市民表彰

三浦 弥平 みうら やへい

三浦弥平は現在の伊達市梁川町生まれ。1920年アントワープオリンピックのマラソン競技に出場。福島県初のオリンピックとなる。早稲田大学卒業後、ドイツに留学し体育学を修め、帰国後は郷里のスポーツ振興に尽力した。



明治24年、伊達郡白根村字木ノ田（現伊達市梁川町）に生まれる。小さい頃は体が弱く休学を繰り返し、早稲田大学入学時は24歳だった。旧白石中（現宮城県白石高校）から陸上競技を始め、早大時代は箱根駅伝等で活躍を重ねた。大正9年のアントワープオリンピックのマラソン選手に選抜され、福島県初のオリンピック選手となる。4年後のパリオリンピックにも連続出場した。

ドイツに留学し、帰国後に早稲田大学の講師に請われるが固辞して帰郷。昭和4年、郷里の山林に「オリンピック村」を建設し、青少年の体力づくり、健全育成に尽力する。戦後も地域青年を集めてのマラソン大会や私設保育所の開設、自宅を「白根体育公民館」として開放するなど、晩年まで地域スポーツの振興に尽力した。

昭和46年、80歳で永眠。

（参考：伊達市合併20周年記念式典 資料 / Wikipedia
写真：アントワープ五輪時の三浦・Wikipedia / Gallica より）



受賞は白根地区の喜び、と三浦さん

三浦氏に名誉市民表彰

記念式典では、伊達市第一号の名誉市民として、梁川町白根出身の三浦弥平氏を表彰し、市長から弥平市のご親族

の三浦勇三氏に表彰状と記念の盾が贈られました。

盾を手に三浦氏は、生前の弥平氏の人柄や思い出を紹介しながら、「弥平氏の功績とふるさととスポーツにかけた志と情熱を、長く伝えていきたい」と語りました。

歌手・大島花子さんと 桃陵中生徒が合唱

アトラクションは、歌手の大島花子さん（坂本九さん長女）が「見上げてごらん夜の星を」など名曲を披露し、桃陵中の生徒たちと坂本九の



「心の鐘」は全国中学の合唱曲になっている

「心の鐘」を合唱しました。最後に、中村正明市議会副議長の前頭で全員で万歳三唱を行い、参加者の大きな拍手で式典を閉じました。



6月10日業務終了後、支所職員総出で定植



伊達総合支所

ひがし
アライバ

花壇が花盛り

伊達総合支所の南側の花壇が、花の盛りを迎えています。6月、県の「沿道緑化事業」から提供を受けたサルビア・マリナーゴールド・なでしこなど約1,250本を植栽しました。リリーのように開花期を迎えています。リリーの見ごろは、なでしこです。おいでの際は眺めてみてください。

デジタルサイネージで情報提供

JR伊達駅、伊達中央・伊達東地区交流館、伊達総合支所で放映中



地域のお祭りやイベントを紹介するミニ動画も上映しています。
お立ちよりの際はぜひご覧ください。



7月下旬から、JR伊達駅など伊達地区の4施設にデジタルサイネージが設置され放映を行っています。

デジタルサイネージは、大型ディスプレイにお知らせやPR動画などを表示するもので、病院や店舗・駅でよく見かけますが、公共施設でも導入が進んでいます。

今回の設置は、伊達西地区自治協議会が市の支援を受け取り組んだもので、伊達駅、伊達中央交流館のほか、連携して伊達東地区交流館と伊達総合支所でも放映しています。



JR伊達駅では、伊達市が駅内に開設している「駅なかプラザ」に設置しています。（正面玄関の左側の部屋）

各サイネージでは、イベント紹介のほか、地域の情報、伊達市のPR動画などが放映され、施設の待ち時間にお役立ち情報が手に入ります。両交流館ではWiFiを活用し、天気予報などネットからの最新情報も表示されます。

サイネージで公開したいお知らせ等がありましたら、各交流館にご相談ください。

なお、この秋オープン予定のイオンモール伊達の伊達市アンテナショップに、市のPR用デジタルサイネージが設置される予定になっています。

両交流館ではWiFiを活用し、最新の天気予報・バス到着予定・ゴミ収集カレンダーも放映

天気予報		
福島県：中通り		
きょう 7/30(金)	あした 7/31(土)	
晴れ時々曇り 16℃/24℃	曇り 24℃/32℃	
7/31(日)	7/1(月)	7/2(火)
曇り一時雨 18℃/21℃	曇り一時雨 22℃/27℃	曇り一時雨 20℃/24℃
7/3(水)	7/4(木)	7/5(金)
曇り一時雨 18℃/21℃	曇り一時雨 22℃/27℃	曇り一時雨 20℃/24℃

ゴミ収集日程：伊達地域					
7/31(金)	7/1(土)	7/2(日)	7/3(月)	7/4(火)	7/5(水)
回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし
回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし
回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし
回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし	回収なし

伊達診療所前⇒福島駅東口	
※乗車時刻は所要時間ではありません	
バス乗込情報	
1	あと1分で到着予定 09:58前⇒10:11着(予定) 伊達駅(上ヶ戸停留所)⇒福島駅東口行き 福島駅東口行き
2	10:40に掛田駅前を発車予定 11:08前⇒11:33着(予定) 伊達駅(上ヶ戸停留所)⇒福島駅東口行き 福島駅東口行き

伊達中央交流館はロビーの大型ディスプレイで



伊達総合支所は主に伊達市からのお知らせを放映



伊達東地区交流館は玄関スペースに設置



夏休み開放！



東地区交流館を小・中・高校生に開放！



夏休み中、一般の利用のない部屋を小学生・中学生・高校生のみさんに開放します。学習や遊びに、ルールを守って楽しく利用しましょう！

対 象

伏黒・箱崎地区の小学生（4～6年生）・中学生・高校生
※ 小学3年生以下は保護者や高学年の児童等が付き添って来てください。

開放時間

月曜日～土曜日（8月13～15日、日曜日は休館です）
小学生：午後 1時30分～4時30分まで
中学生：午後 1時30分～5時30分まで
高校生：午後 1時30分～6時30分まで
※ 開放は午後のみ。空き室がないときは使えません。

利用の流れ

- ① フォームまたは申込書で交流館事務室に申し込みます。
- ② 来館し会員証を受け取ります。（月～金 9:00～17:00）
- ③ 利用のときは、会員証を窓口提出するだけです。

申込み

右のQRコードのフォームから、または交流館に備え付けの申込書で申し込み

問合せ

伊達東地区交流館 ☎ 024-583-4646



会員証を発行！

利用は会員証を
ピッするだけ！
名簿記入が不要に



・在室状況が確認できるので保護者も安心です。

交流館のトイレは土足OK
泥汚れの靴はスリッパに履き替えて

- 伊達東地区交流館のトイレが、館の室内利用の人は外履きの靴のまま利用できるようになりました。
- 東グラウンド利用の方などで靴に泥が付いている人は、玄関でスリッパに履き替えてください。



・スリッパに履き替えるときは安全に注意してください。

募集!

子ども見守り隊

川東地区の子ども見守り隊の隊員を募集中です。



- あいさつや誘導などで、校外の子どもたちの安全を見守る活動です。
- 時間の制限はありません。朝や夕方など自由なスタイルで見守ってください。
- 上着と帽子を貸与します。
- ボランティア保険に加入します。



問合せ 伊達東地区交流館 ☎ 583-4646

クリーンアップ作戦

7月5日 須田市長が平地区を訪問し感謝



朝6時、市長らが訪問し参加者に感謝

7月5日全市でクリーンアップ作戦が行われ、須田市長が伏黒の平町内会を訪れ、参加者に「朝早くからありがとうございます。きれいな地域をみんなで作りましょう」と感謝を伝えました。



子どもと大人がいっしょに清掃活動

一日曜日）に合わせ河川や街中の一斉清掃を行うもので、伊達地区では町内会と育成会で子どもと一緒に道路等の清掃をする地区が多いです。平地区でもこの日朝6時から、子どもたちを含め約50人が参加して、地域をめぐり清掃活動を行いました。

ロボットプログラミング教室



小学校で勉強する「スクラッチ言語」でロボットをプログラムして迷路を走らせます。授業の予習・復習ができます！

7月30日(木)・31日(金) 10:00~12:00

- 対象：伊達東小 4～5年生（定員：12名）
- 会場：伊達東地区交流館

申込み

- フォームか電話で申し込み
- 伊達東地区交流館 ☎ 024-583-4646



テレビゲームを楽しみながら脳トレしましょう!

参加無料

シルバーゲーム教室



ボーリング・太鼓の達人、ぷよぷよ ほか

次回日程

8月22日(土) 10:30~12:00

・会場：伊達東地区交流館 ホール

9月19日(土) 10:30~12:00

・会場：伊達東地区交流館 ホール

- 定員：教室ごとに 20名
- 対象：65歳以上で旧伊達町内に居住の方
- 申込み 下記のいずれかに電話か窓口で申し込み
伊達東地区交流館 ☎ 024-583-4869
伊達中央交流館 ☎ 024-551-1285

～新病院の工事進捗状況～ ここまで完成しました。

外装工事がほぼ完了し、外来棟と病棟南側・東側の足場が外れました。内装工事も順調に進んでいます。

24時間地域のために、365日地域とともに



Jinsenka Medical Orchard

公益財団法人 仁泉会

北福島医療センター

Kita Fukushima Medical Center

2027年3月1日(月) **開院**予定です。

新病院のポイント

新病院では診療機能ごとにフロアを配置し、連携しやすい動線となっています。外来機能と健診機能を1階に集約配置して共用することで効率的な動線とします。また2階にリハビリテーション機能と回復期病、4階に手術機能と急性期病棟を配置し、同フロアでの連携を円滑にします。

開院まで
あと

約**6**ヵ月!

(2026年7月末現在)

病棟東側にロゴマークが設置されました!

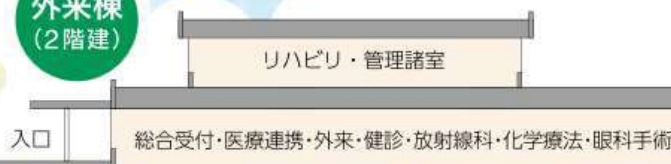
病棟
(4階建)

急性期	スタッフ ステーション	手術・RI
急性期	スタッフ ステーション	急性期
慢性期	スタッフ ステーション	回復期
救急・薬剤科・臨床検査科・病院事務・栄養科		

(北側)

(南側)

外来棟
(2階建)



● 建設面積 6,444 m² (外来棟: 3,152 m²、病棟: 3,091 m²、他)

● 延床面積 15,350 m² (外来棟: 4,402 m²、病棟: 11,004 m²、他)

地震対策も
バッチリ
です!



病棟(4階建)は揺れの少ない“免震構造”
外来棟(2階建)は“耐震+付加制振構造”

＼揺れを逃がして伝えない／

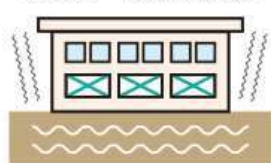
免震構造



建物の基礎部分に「免震装置」を設置し、建物全体がゆっくりと動くことで地震の揺れを大幅に軽減します。病棟では免震構造を採用しています。

＼ダンパーで揺れを吸収／

耐震+付加制振構造(S造)



地震時の建物の変形をより抑えるため、「耐震+付加制振構造」としています。揺れのエネルギーを吸収し、建物の変形を小さくする仕組みです。外来棟では耐震+付加制振構造を採用しています。

ご寄付のお願い

北福島医療センター新築移転工事を確実に遂行できるようお力添えいただきたく、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●郵送でのお申込み

当法人ホームページより、所定の申込書をダウンロードし、【郵送・Eメール・FAX】でお送りください。詳しくはホームページでのご確認をお願いいたします。

仁泉会 寄付

検索

QRコードは
こちら▶



●お問い合わせはこちらから

公益財団法人
仁泉会



024-505-6010

受付時間 平日 8:30 ~ 17:00

ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。



公益財団法人

仁泉会



北福島医療センター
保原中央クリニック
プライムケア桃花林

あぶくま訪問看護ステーション
あぶくまヘルパーステーション
あぶくまケアプランステーション
伊達市保原地域包括支援センター

だてガイド

心ほっとカフェ（東）

8月の川東地区のへこころ
ほっとカフェは、フラダンス鑑賞会。
かき氷・飲み物・茶菓子もご用意します。



こども無料（高校生以下）
大人：300円

聖光学院生の

ひまわり食堂

7月29日 水

11:30 ~ 13:30

伊達ふれあいセンター

1階・多目的ホール



聖光学院高校福祉探究コースの生徒たちが学習の成果を生かした「ひまわり食堂」が開催されます。おそろいでおいでください。



図書館だより

幼児・小学生低学年向けの
おはなし会を開催中

・みにみにおはなし会
0〜3歳
兄弟姉妹も参加できます。

日 8月6日 ⑩ 10時〜12時
場 200円（飲み物等付き）
問 伊達東地区交流館
伊達地域包括支援センター
☎024・551・2144

日 8月14日 ⑩
午前10時20分
午後10時35分



・わくわくおはなし会

4歳〜小学校低学年
兄弟姉妹も参加できます。

8月9日 ⑩
午前10時30分〜11時

場 伊達市立図書館・親子マ
ルチメディアスタジオ
問 ☎024・551・2132



箱崎・伏黒 歴史の冒険者



（第十一話）
猫がお尻をなめると
何が起きる？



天気予報のない時代、人々は
経験や観察で生まれた「ことわざ」を頼りに暮らしていました。
科学的に見て当たっているもの
も多いのですが、中には「はて
な？」というものもあります。
伊達地方に伝わる天気に関する
ことわざを紹介します。

動物

- ・猫が草を食べるときは、雨になる。
- ・猫がお尻をなめるときは、雨になる。
- ・トンビが低く飛ぶと雨が近い。
- ・スズメが夕方遅くまで騒ぐと

- ・雨降りとなる。
- ・スズメが水浴びすると雨。
- ・カラスが巣を低い所に作るときは風が強くなる。
- ・スガリ（蜂）が高いところに巣をつくる年は雨年となる。

雷・風

- ・雷が鳴ったら桑畑で桑の葉を二、三枚頭に乘せると良い。
- ・激しく風が吹くとき、鎌を竿の先にしばって風吹く方向に向けて立てると、茅葺き屋根が飛ばされない。
- ・近所で火事るとき、風上に女の腰巻を竹ざおに結んで旗のように立てると燃え移らない。

山を見る

- ・吾妻山に雪が三回降れば半田山に雪が降り、半田山に雪が三回降れば里にも雪が降る。
- ・半田山の山頂に四月末まで雪が残ると五月には霜がふる。
- ・吾妻小富士の残雪がウサギ形になる頃には遅霜はふらない。

不思議な言い伝え

- ・朝早く、箱崎の愛宕山へ鐘をつきに登ると、阿武の松原の方向で虹の泣く音がする。

（参考：「郷土の研究」第13号・昭和62年5月発行／伊達町郷土史研究会伏黒部会）

スマホ相談室



無料

毎週水曜日

- ・伊達東地区交流館：
毎月第1・2水曜日
☎024-583-4646
- ・伊達中央交流館：
毎月第3・4水曜日
☎024-551-1285

午後1時30分～3時

相談内容

LINE、写真送付、病院予約、
迷惑メッセージ削除 など
※ パソコン相談もOK！

予約

前日(火曜日)までに電話か窓口
で各交流館にご予約ください。

次号のお知らせ

はこふし次号は10月発行予定

編集後記

▷ イオンモールの開店や伊達橋の再開通、北福医療センターの完成が間近に迫り、川東地区もいろいろあわただしくなってきました。地域の将来についてもみんなで考えることが必要かもしれません。(佐藤)

▷ はこふし創刊は令和5年の7月。本号で4年目に突入しました。記事の情報はもちろんのこと、本紙の企画についての提案もぜひお寄せください。(冨田)

「はこふし」広告募集中！

〈はこふし〉に広告を載せてみませんか？
旧伊達町地区のほぼ全戸に配布・回覧されます。
地域密着の記事のため多くの住民に目を通してもらえます。詳しくはホームページをご覧ください。



問合せ 伊達東地区交流館 ☎583-4646

サイズ (mm)	料金
1/2段: 45 × 87mm	4,800円
1段: 45 × 180mm	8,000円
1ページ全面	38,400円

・年間4号分を事前予約した場合の1号あたりの料金です。

町内会訪問 ⑫

〈箱崎〉

ちゅうぶ

中部町内会

案内人

町内会長・菅野與志昭さん



左(西側)が毘沙門様、右奥が小牟田山神様のお社

中部町内会は、愛宕山の北側、リンゴ・さくらんぼ・桃などの果樹園に囲まれた、静かな農村地帯です。

中部地区に祭られる小神社、毘沙門様と小牟田山神様を紹介します。両神社は中部集会所の北向かいに並んでいます。祭られた時代は不明ですが、社殿を建て替えながら明治以前から続いているようです。

山神様は、宮城県美里町にある小牟田山神社が本社です。中部の山神様も本社同様に奉納されたお枕を借りて腰に当てると、子授け・安産のご利益があるといわれ、女性により長く崇敬され、今も参拝する女性が多いです。

お枕を借りて安産祈願

毘沙門様は金毘羅様とも呼ばれる福の神・火防神・蚕神です。2月下旬の旧暦・初寅の日と前夜を初寅祭といい、かつては男衆が夜を徹して酒を飲みました。翌朝は甘酒が振舞われ、子どもは飲んでから学校に行ったものです。

毘沙門様は蚕の神様

毘沙門様は金毘羅様とも呼ばれる福の神・火防神・蚕神です。2月下旬の旧暦・初寅の日と前夜を初寅祭といい、かつては男衆が夜を徹して酒を飲みました。翌朝は甘酒が振舞われ、子どもは飲んでから学校に行ったものです。



今も小さな枕や人形の奉納がある

令和6年には、町内会で宮城の小牟田山神社を訪問し参拝してきました。

両神社での集まりはコロナ禍で一時休止しましたが、現在は旧正月に2つの神社同時に祭礼を行っています。

中部地域も少子高齢化が進んで空き家も増えています。町内会の会員は46戸に減りましたが、神社が見守る集会所で行う元気体操には多くの町内会員が集まります。協力して元気で長生きできる地域を作っていきたいと思います。

